

## 第26回宇和島市入札監視委員会 議事概要(令和7年12月定例会議)

(期間：令和7年4月1日 ～ 令和7年9月30日)

開催日時及び場所		令和7年12月19日（金） 午前10時00分から午前11時20分 宇和島市役所2階 小会議室	
出席委員の氏名及び職業		大 島 博 雅 （弁護士：大島博雅法律事務所） 宇都宮 誠 一 （税理士：宇都宮誠一税理士事務所） 岡 本 直 之 （愛媛大学教授：社会共創学部）	
対 象 期 間		令和7年4月1日 ～ 令和7年9月30日	
抽 出 案 件		総件数 6件	
内 訳	一 般 競 争 入 札	3件	(備考) 抽出方法 ・各委員が2件程度抽出
	指 名 競 争 入 札	2件	
	随 意 契 約	1件	
委員からの意見・質問とそれに対する回答等		意 見 ・ 質 問	回 答 等
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会意見の内容		審議の結果、委員会から市長への意見具申なし。	

意 見 ・ 質 問	回 答 等
<p><b>【入札及び契約手続の運用状況等の報告】</b></p> <p>・ 入札参加資格停止運用状況について、半年間（R7. 4. 1～R7. 9. 30）で計 3 件というのは、これまでの傾向として多いのか少ないのか。</p> <p>・ 入札参加資格停止の措置決定はどのような手続きで行われるのか。 また、停止期間の基準についても教えてほしい。</p> <p><b>【抽出事案の審議】</b></p> <p><b>①6 災国補第 3043 号他 山財ダム循環線道路災害復旧工事</b> <b>【一般競争入札】</b></p> <p>・ 予定価格が高額で入札参加者が 12 者と多く、落札率は 90% 以上となっているが、考えられる要因は何か。</p> <p>・ 最低制限価格は事後公表とのことだが、応札業者は最低制限価格を予想しながら入札額を積算し、結果として、失格となった 4 者は最低制限価格を下回ったということか。</p> <p><b>②地砂補第 12 号 郷蔵地区集落・避難路保全斜面地震対策工事</b> <b>【一般競争入札】</b></p> <p>・ がけ崩れ防災対策事業関連の入札案件は、比較的に入札参加者が多く落札率も高い印象を持ったため、本案件を抽出した。 落札者が①と同じ業者であるが、そこに着目したものではない。</p> <p>・ くじ引きは電子入札システムによるくじなのか。人為的に結果を操作できる要素などはないのか。</p> <p>・ 最低制限価格の予測において、4 者の応札額が最低制限価格と一致しているのは、積算ソフト等で標準的な積算基準を用いるため同額になったということか。 また、これはよくあることなのか。</p>	<p>・ 計 3 件中、本市発注案件による入札参加資格停止は 1 件、全国の他自治体の案件は 2 件であった。 本市発注案件は例年並みだが、全体件数としては例年と比べてやや少なかった。</p> <p>・ 措置内容は、副市長が委員長を務める審査会に諮ったうえで決定している。 また、停止期間は宇和島市建設工事等入札参加資格停止措置要綱に定めており、要綱の内容は愛媛県に準拠している。本市発注案件については当該要綱に基づき審査し決定しているが、他自治体の案件については、愛媛県から事前に措置情報が提供され、本市はそれに準拠している。</p> <p>・ 予定価格の積算内訳に一部見積採用もあるが、基本的には標準積算基準等を採用し算出しており、比較的最低制限価格の予測は立ちやすい案件と思われる。 また、入札参加者の多さは、工事現場が山中であり、騒音・振動に気を払う必要がそれほどないため各業者の応札意欲が高かったと推察する。 なお、本市は最低制限価格を事後公表としている。</p> <p>・ お見込みのとおりと推察する。</p> <p>・ 予定価格の積算において、本案件は見積採用の部分がなく、標準的な積算基準のみで積算できた。そのため応札業者は、高い精度で最低制限価格の予測ができたと考えられる。 また、入札参加者の多さは、積算のしやすさに加え、設計金額の価格帯が格付 A から D の全等級が参加可能であったためと推察する。 なお、本案件は最低制限価格と同額で応札した業者が 4 者あり、くじ引きの結果たまたま①と同じ業者が落札となった。</p> <p>・ 電子入札システムで、各応札者が入札額と同時に入力する 3 桁の任意のくじ番号や、応札した時間のコンマ数秒単位等をもとにした計算式による自動計算で順位を算定するため、人為的に結果を操作できる要素はない。</p> <p>・ お見込みのとおりと推察する。 応札者は、公文書公開請求等の情報をもとに積算するケースが多く、今回は標準的な積算基準を採用し、見積採用もないため予測の精度が高かったと推察する。 なお、公共の設計書作成において、標準的な積算基準等があるものについては原則それを採用し、特別な理由もなく設計者の裁量で見積採用の単価に置き換えることはしない。</p>

意 見 ・ 質 問	回 答 等
<p><b>③熱田温泉源泉ポンプ改修工事</b> 【一般競争入札】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加業者が1者で県外業者だが、県内、四国内、西日本等近隣からの応札業者がいなかったのかと思ひ抽出した。</li> <li>また、落札率も96.3%と高めであるが、さく井工事業の登録業者が近隣にいないのか。</li> </ul> <p><b>④学校用グループウェア</b> 【指名競争入札】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加者が4者いたにも拘わらず落札率が100%となった要因は何か。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>本案件は製品指定をして継続使用しているため、4者の応札額に価格の開きは少ないが、若干の価格差は見られる。こういった事例では業者間で応札額に差がつくのが普通か。製品のパッケージとして大体の価格相場が決まっているところで、どの業者が安く納品するかということか。</li> <li>入札結果に辞退と棄権という2種類の記載があるが、この違いは何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該工事には専用工具が必要であり、地下500mまで穿孔するため、市内業者では施工が困難であったと思われる。</li> <li>さく井工事業の入札参加資格登録をしている業者数は、市内1者、県内10者、県外4者の計15者しかなく、今回地域要件は設定せず全者参加可能としたが、結果として応札者1者となった。</li> <li>なお、落札率の高さについては、特殊性が高い工事のため、施工可能な今回落札業者が強気な応札をしたと推察する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>予定価格は昨年度まで契約実績のある業者から参考見積を徴収し、その額を参考に設定した。今回、当該業者が受注者となったが、参考見積額が応札額ベースであったと推察する。</li> <li>物品役務の入札は、予定価格を公表しないため予定価格を上回る応札もあり、また、参考見積は過去実績のある業者から精査された価格で徴収する機会が多いため、今回のような落札率100%となるケースが生じやすい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>お見込みのとおりと推察する。</li> <li>応札しない場合には辞退書の提出を求めている。辞退書を提出した業者は辞退となり、提出せず応札しなかった業者は棄権となる。</li> </ul>
<p><b>⑤簡易トイレほか一式</b> 【指名競争入札】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指名業者13者のうち参加者が3者と、対応可能業者がもっと多いのではと思っていたが、事務局説明で、物品の災害備蓄に登録のある市内及び準市内業者の全者を指名したということが分かったので理解した。</li> <li>落札率が98.2%と非常に高いがその要因は何か。</li> <li>また、落札率等における工事発注との違いがあれば教えてほしい。</li> <li>参考見積を徴収した業者が有利にならないか、実績のある業者に参考見積依頼をしているとのことだが、公平性、透明性は確保できているという理解で良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回受注者となった業者から参考見積を徴収し予定価格を定めたが、その参考見積額が応札額ベースであったと推察する。</li> <li>当該物品は前年度から継続調達しており、前回契約者から参考見積を徴収したため、かなり精査された価格であったと思われる。</li> <li>また、落札率における工事発注との違いは、工事は積算基準等に基づく統一的なルールで設計書作成が可能であるが、物品にはそういったものがないため、業者見積により予定価格を決定する。そのため参考見積を徴収する業者によって、落札率が見かけ上、高止まりや低くなる状況が生じやすい。</li> <li>適正価格による予算確保及び予定価格設定の観点から、実績のある業者が参考見積の第1候補者となる。</li> <li>価格競争による業者選定であり、同等品も原則認めている、各メーカーに対していかに安く調達できるかは自由競争であるため、公平性、透明性は確保される。</li> </ul>

意 見 ・ 質 問	回 答 等
<p>・ 納期が今年度末まで長期間確保されているが、災害備蓄という趣旨から徐々に納品する目的で納期設定をしているのか。</p> <p>・ 辞退業者が多い要因は、発注数量の多さや業者の取扱製品の得意・不得意によるものが多いのか。</p> <p><b>⑥公営選挙ポスター掲示板 製作・設置・保守撤去業務（宇和島市長選挙・市議会議員選挙）【随意契約】</b></p> <p>・ 随意契約理由が緊急を要するという事で、その経緯が知りたかった。事務局説明において、当初予定した指名競争入札が入札参加者 1 者により中止したという前段があったことが分かり理解できた。 また、落札率が99.8%と高かった理由も、事務局説明により理解できた。</p> <p>・ 指名競争入札 6 者のうち 5 者辞退した要因は何か。</p> <p>・ 仕様において、リサイクルは業者が行うとしているが、次回落札した際に再利用することもあるのか。若しくは何か別のものに再利用ということか。</p> <p>・ 今回の市長・市議選挙は定例的なものであり、急遽行ったわけではないと思う。例えば立候補者事前説明会の開催がもう少し早かったら、業者も余裕ができるのではないか。開催期日は法令等で決まっているのか。</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>(特になし)</p>	<p>・ 納入数量が135組とかなり多く、一括で納入先倉庫に運ぶことは難しいと判断し、複数回に分けて納入できるよう余裕のある期間設定とした。 なお、支払いについては全数納入した後の完了払いとしている。</p> <p>・ 指名競争入札の場合、業者の登録費目ごとに地域要件で指名業者を絞り込んでいるが、登録費目の中でも得意な物品や取扱いの有無がある。本案件でもそのような登録情報から指名業者を選定したが、数量の多さ等で納入が難しい業者は辞退したと推察する。</p> <p>・ 市長市議選挙は掲示板の材料がかなり多く、保管が難しかった面もあったと思われる。 また、選挙看板は短期間に市内全域多数の場所に設置しなければならないうえ、特に市長・市議選挙は 1 ヶ所あたりの看板規模が大きい、今回委託期間が盆休中に重なったこともあり、人員確保及び材料調達等において特に厳しいと判断されたのではないかと推察する。</p> <p>・ 選挙看板材料として長く保管しておくことは難しいと思われる。リサイクルの方法は指定していない。</p> <p>開催期日に法律等の定めはないが、早すぎると立候補の判断に影響を与える恐れもあり、それらも考慮して開催時期を決定している。 本案件に関わらず、以前と比べ業界全体の人員不足による影響を感じ、今後の懸念事項でもある。</p>

抽出事案一覧表

（期間：令和7年4月1日 ～ 令和7年9月30日）

一般競争入札

種別	No.	件 名	契約の相手方	契約金額（円）	備 考
工事	9	熱田温泉源泉ポンプ改修工事	(株) NNCエンジニアリング 南魚沼支社	¥39,600,000	【抽出：岡本委員】
工事	29	6災国補第3043号他 山財ダム循環線道路災害復旧工事	N－c o n s t r u c t i o n (株)	¥17,061,171	【抽出：大島委員】
工事	47	地砂補第12号 郷蔵地区集落・避難路保全斜面地震対策工事	N－c o n s t r u c t i o n (株)	¥8,217,917	【抽出：大島委員】

指名競争入札

種別	No.	件 名	契約の相手方	契約金額（円）	備 考
物品の購入	44	簡易トイレほか一式	(株) 岩本商会 宇和島営業所	¥46,094,400	【抽出：宇都宮委員】
物品の購入	57	学校用グループウェア	(株) デンケン	¥4,593,600	【抽出：岡本委員】

随意契約

種別	No.	件 名	契約の相手方	契約金額（円）	備 考
業務委託（役務）	24	公営選挙ポスター掲示板 製作・設置・保守撤去業務（宇和島市長選挙・市議会議員選挙）	(株) コーノ・ディレクション	¥27,280,000	【抽出：宇都宮委員】